

研究内容

③先進地域におけるモデル事業

● 趣旨

障害者スポーツを地域において担う社会資源として調査を行っている総合型地域スポーツクラブ等はスポーツを軸とした機能が備わっている。

これとは別に、スポーツを活動の軸に持たないが、スポーツにより、障害者の地域生活に寄与し、地域でスポーツに親しめる環境づくりが可能な社会資源がないのか検証する。

● 実施に至る背景

- (1) 神戸市及び社会福祉法人神戸市社会福祉協議会において、平成 25 年度、厚生労働省総合福祉推進事業「地域型障害者スポーツのあり方検討」のなかで、地域主体の障害者スポーツ振興のしくみを検討するために、まず、それを担う社会資源に着目した。
- (2) 障害者スポーツを包括する「スポーツ」の振興のため、従来からさまざまな取り組みがなされているが、地域におけるスポーツ振興については、総合型地域スポーツクラブとスポーツ推進委員制度がある。
- (3) 上記については、実態把握のためアンケート調査を実施し、総合型地域スポーツクラブについては並行して先駆的活動の情報を得ているクラブへのヒヤリングを実施した。
- (4) 同時に、(2)の制度以外に、地域において障害者スポーツの担い手となりうる、あるいはすでに機能している社会資源について、ヒヤリング及びモデル事業を実施することとした。

◇ 地域の定義

エリアとして、出かけて行くのに大きな負担がない、「近所づきあい」ができる範囲、災害が起きた時に避難所を同じくする範囲が考えられ、小学校区が基本となる。

● モデル事業の実施

神戸市において取り組まれている地域福祉の組織として、おおむね小学校区ごとに設置された「ふれあいのまちづくり協議会」があり、拠点となる地域福祉センターが設置されている。

協議会の中には、従来から障害者福祉に関心があり、地域のイベントにも障害者の参加に配慮してきた実績のある地域もある。

その中で東灘区の福池小学校区の福池ふれあいのまちづくり協議会委員長にヒヤリングを依頼したところ、今後の地域主体での実施が可能かなどを探

るためにも、まずモデル事業として開催してみる事となった。

今回の地域での事業のなかで、打ち合わせを行う中で、障害児・者や保護者、支援者からは、スポーツなどできないという先入観や、参加には、専門的な知識のある指導者の対応が必要であり、スポーツイベントへの参加は不安であるという声が聴かれた。

同様に、開催側からも専門的な知識がなく、配慮すべき事項もわからない、といった不安の声があがった。

これに対し、今回の実施により、障害者スポーツ指導員や競技団体が十分な補助員を配し、参加者の障害の状況を勘案しながら、プログラムを提供し、指導することで、安心と信頼が寄せられ、スポーツを体験していなかった障害児・者がスポーツを楽しみ、できる、と実感してもらうことができた。

また、防災福祉コミュニティからは「どのような人に支援が必要か知っておくことが大切だが、災害時に避難、救援のためには要援護者名簿の整備だけでなく、顔見知りになることが大切」などの発言もあり、スポーツを軸に障害児者が地域で安心して暮らすために欠かせぬ交流が期待された。

当日は、各地域団体が役割分担し誘導や介助に取り組んだため、それぞれに参加者との交流の場面があった。

以上の実施状況から、モデル事業では、地域が主体となって運営し、障害者スポーツ指導員や競技団体等の経験とスキルが加わることで、在宅障害者や機動力の弱い家庭であっても障害者スポーツに参加する機会を提供でき、開催側も安心して取り組めたという結果が得られたと考える。

このことから、これらの取り組みは、障害者の暮らしの質の向上と障害者スポーツの裾野拡大を図るひとつの方法として有効であると考えられる。

また、これはニーズの高さを表すと同時に、新たな実施方法の可能性を示唆している。

しかし、本モデル事業は、委員長並びに役員の呼びかけに地域の各団体が即時集結し取り組んだもので、障害福祉に理解があり、実行力のある地域リーダー並びに役員等の協力者が得られたことが、成果を得た要因の最たるものであり、こうした先駆的な取り組みの発信が重要である。

また同時に、打ち合わせの際に聞かれた声に対して、当面の具体的な取り組みとして、地域力との連携を模索しつつ、障害者スポーツ指導員の知識やスキルを研修や講習会の開催により、地域で障害者の参加について知識と理解をもってリーダーシップをとることのできる指導者育成に取り組んでいく。

福池障害者スポーツ交流会実施報告

(1) 目 的

福池地域でともに暮らす障害児（者）とスポーツを通じて交流する。

会場に集う人に、多様な障害者スポーツ種目を体験してもらい、障害のある人やそうでない人も、高齢者も児童も、みんながそれぞれに楽しめる障害者スポーツを発見してもらう。

地域のふれあいのまちづくり協議会など、地域主体で、地域の核となる施設である福池小学校を会場に実施。

(2) 実施内容

- ① と き 平成 26 年 2 月 23 日（日）10：00～15：00 予定
- ② と ころ 神戸市立福池小学校体育館
- ③ 種目等 別添チラシ参照

(3) 実施団体等

- ① 主 催 福池ふれあいのまちづくり協議会
- ② 共 催 東灘福祉5団体（視力・聴覚・肢体・知的・じゅうしん）
福池防災福祉コミュニティ
青木地区、本山中部民生委員・児童委員協議会
福池青少年育成協議会
東灘交通安全協会
東灘区自立支援協議会
- ③ 後 援 東灘区／東灘区社会福祉協議会

(4) 協 力

神戸市立福池小学校
神戸国際大学
聖ニコラス保育園
社会福祉法人神戸市社会福祉協議会障害者スポーツ振興センター

(5) 募集等

別添チラシ参照

6 経過（別添報告書参照）

年	日時	取り組み内容	備考
25	12/26	地域主体の障害者スポーツについて、委員長、副委員長、福祉5団体代表に趣旨説明し、実施の方向で、年明けに関係者会議開催決定	
26	1/14 1/20 1/29	関係者打ち合わせ 関係者打ち合わせ 第1回福池障害者スポーツ交流会打ち合わせ会	
	2/14 2/22	第2回打ち合わせ 開催準備最終打ち合わせ	
	2/23 3/13	交流会開催 反省会	



ビームライフ

卓球バレーボール



吹き矢



昼食は温かいカレー（地域福祉センター）
昼食の手配も付近道路の安全確保も地域
団体が枠割分担して実施

いろんな障害者スポーツがいっぱい！

福池障害者スポーツ 交流会

と き 平成26年2月23日(日)

10時～15時まで

ところ 神戸市立福池小学校体育館

障害のある人も
そうでない人も
大人も子供も
みんな集めれ！

★雨天決行

★動きやすい服装きてね！

★体育館では運動靴を
持ってきてね！

プログラム

- 10:00 オープニング
- 10:15 オリエンテーリング
- 10:20 みんなで体操
- 10:30 障害者スポーツを体験しよう！
卓球バレー・吹き矢
フライングディスク
ビームライフル・ボッチャ
プレイコーナー
- 12:00 ランチ交流(カレータイム)
♡福池地域福祉センター♡
- 13:00 さあ、もうひとがんばり！
障害者スポーツ体験
- 15:00 エンディング



裏面の申
込書を見
てね！



★主 催 福池ふれあいのまちづくり協議会

★共 催 福池防災福祉コミュニティ

青木地区、本山中郷地区民生委員児童委員協議会

東灘福祉5団体(視力・聴覚・肢体・知的・じょうしん)

東灘区自立支援協議会

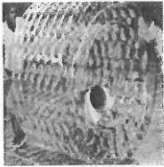
★後 援 東灘区/東灘区社会福祉協議会

★協 力 神戸市立福池小学校

社会福祉法人神戸市社会福祉協議会障害者スポーツ振興センター

いろいろ体験してみよう！

10：00のスタート時に参加する種目を選んで申し込んでください。その後は、自由に各ブースを回ってみてください。

ビームライフル 光で的を狙います。 国体の正式種目、パラリンピックのエアライフと同様です。 	フライングディスク 全国障害者スポーツ大会の正式種目。 輪に入ったディスクの数を競うアキュラシーをやってみよう！ 
吹き矢 息を吹くだけ。 障害者も高齢者も楽しめます。 楽しく的を狙って健康増進！ 兵庫県身体障害者吹き矢連盟が指導します。 	卓球バレーボール 座ったままで力をあまり使わずにボールゲームが楽しめます。 
プレイコーナー ゲームが苦手なら、体を動かして遊ぼう！ 楽しいだけでなく、体力や運動能力 創造性、想像力を刺激し向上させることが できる遊具サイバーホイールが登場！ 申し込み不要 	ボッチャ パラリンピック種目の1つ。 重度の障害がある人も行えるように考え出されたスポーツ。 白いジャックボールの近くに投げたかで勝負！ 

切り取り

福池障害者スポーツ交流会参加申込書

福池障害者スポーツ交流会に _____ 名で 参加を申し込みます。

代表者お名前	
ご住所	
連絡先(電話・ファックス)	

参加者お名前	年齢	性別	続柄	ビームライフル	ボッチャ	吹き矢	卓球バレー	フライングディスク
① 代表者	才	男・女						
②	才	男・女						
③	才	男・女						
④	才	男・女						
⑤	才	男・女						

★一番最初に体験するスポーツを選んで ○を入れて下さい。

2つ目からは自由にブースを選んでください。

★希望者が多くて待ち時間があったり、ほかのブースに先に行ってもらったりすることがあるかもしれませんが、ご了承ください。

★体育館用の靴を持ってくるください。

**2月20日
締切**

FAXで福池地域福祉センターまで

福池地域福祉センター（問い合わせ）TEL：(078) 412-0098 Fax：(078) 412-0098

7 展 望

地域型障害者スポーツの展望を述べる。

スポーツ推進委員については、障害者を受け入れるに際して、リスクマネジメント、接し方への不安が高い。このことは、推進委員を対象とした実践研修を企画、実践することで改善されると思われる。また、障害者と健常者がともに実施できるインクルーシブな取り組みが好ましいと考えている様子である。

ただ、総合型地域スポーツクラブに参加する障害者やそれを受け入れる指導者のニーズとしては、それぞれ障害に応じた細やかな配慮を好むために、日常的な活動は障害者のグループでの実施が好ましいと考えている。

地域資源としての「ふれあいのまちづくり」は、総合型地域スポーツクラブとスポーツ推進委員、そして地域の障害者をつなぐツールとして機能する可能性が高い。ふれあいのまちづくり事業と総合型地域スポーツクラブが協働で実施するイベント事業などは、障害の有無を超えた地域の交流に活用できると予想する。

現状を踏まえた、地域型障害者スポーツを発展させる一案として、総合型地域スポーツクラブにおいては、まずは、障害者が参加しやすいような種目の設置や障害者グループを誘うような取り組みが有益であろう。障害者と健常者の交流は、イベント企画としてスポットで実施する方が機能しやすいのではないかと考える。現状の地域のスキルとしては、フルインクルージョンが難しい。ボランティアの導入やイベント時のインクルージョンから育んで行くべきである。

総合型地域スポーツクラブ、スポーツ推進委員共に、障害者自身のスポーツに対する態度、すなわち積極的に参加する能動的な姿勢を「待っている」様子であった。日本国内においても報告が乏しく、今回の調査では取り組むことができなかった、障害者自身のスポーツに対する潜在需要、ニーズの発掘、に対する現状把握とそれを踏まえた方略が課題となっている。

参考

(政令指令都市の状況)

設問	神戸市	静岡市
(1)基本事項		
②障害者スポーツ振興事業運営形態 ・委託、補助等 ・実施機関名	・補助 ・社会福祉法人神戸市社会福祉協議会(障害者スポーツ振興センター)	【委託】 静岡県障害者スポーツ協会 社会福祉法人 静岡市しみず社会福祉事業団 【補助】 静岡市清水区障害者スポーツフェスティバル実行委員会 【直営】 障害者福祉課 区生活支援課障害者支援担当
③ ②で直接行政で障害者スポーツ振興を実施している場合☑組織体制は？ ・専門職雇用状況(障害者スポーツ指導員・OT・PT・社会福祉士・保育士等)		【障害者福祉課】 行政職職員1名 【区生活支援課障害者支援担当】 行政職職員1名
④組織体制は？②で別団体等で障害者スポーツ振興を実施している場合☑人員、組織体制は？ ・専門職雇用状況(障害者スポーツ指導員・OT・PT・社会福祉士・保育士等)	センター長☑市派遣職員 副センター長☑団体固有職員 事務☑団体嘱託職員3名(内、市退職者1名) 障害者スポーツ指導員☑固有職員2名、パート1名	【静岡県障害者スポーツ協会】 職員 4名 【社会福祉法人 静岡市しみず社会福祉事業団】 職員 3名 【静岡市清水区障害者スポーツフェスティバル実行委員会】 実行委員形式
⑤市民ボランティア活用制度☑名称と登録人数	・神戸市障害者スポーツリーダー制度 174名 原則として障害者スポーツ指導員初級資格所持者	無
(2)設備について		
①障害者スポーツ拠点施設の有無 ・施設名 ・設置年度 ・設備等	・神戸市立市民福祉スポーツセンター(こうべ市民福祉交流センター7階～10階) ・平成6年度 3,310㎡(体育館、プール、トレーニング室)	無
②管理形態と管理者名 ・指定管理者名 ・指定管理期間	・株式会社オーグスポーツ ・平成22年度から平成25年度まで(平成26年度から平成29年度の指定管理者も上記会社を指定)	

福岡市	名古屋市	仙台市
(1)基本事項		
[Ⅰ] ・補助 ・福岡市障がい者スポーツ協会 [Ⅱ] ・委託(指定管理) ・福岡市立障がい者スポーツセンター	・指定管理 ・社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団(名古屋市障害者スポーツセンター)	・自主事業、委託、補助 ・(1)社会福祉法人仙台市障害者福祉協会 (2)仙台市知的障害者関係団体連絡協議会 (3)仙台市障害者スポーツ協会
		市職員:課長1名、主幹兼係長1名、 係員6名(ハーフマラソン大会車いすの部担当1名、障害者スポーツ担当1名を含む) 嘱託職員:1名
[Ⅰ] 事務局長⇒市退職者1名 事務員⇒団体固有職員3名・パート2名 [Ⅱ] 施設長⇒団体固有職員1名 管理係長⇒団体固有職員1名 事務員⇒団体固有職員2名 指導係長⇒団体固有職員1名 運動指導員⇒団体固有職員2名・非常勤職員7名 看護職員⇒非常勤職員2名	すべて団体職員20名 所長、課長⇒職員 事務員⇒職員2名、嘱託1名 障害者スポーツ指導員⇒職員6名、嘱託7名 看護師⇒職員1名 業務士⇒嘱託1名	・(1)社会福祉法人仙台市障害者福祉協会 事務局(団体)職員:事務局長1名、次長1名、障害者スポーツ担当1名 (2)仙台市知的障害者関係団体連絡協議会 加盟団体職員:責任者1名、総務2名 (内、障害者スポーツ指導員1名、社会福祉士・精神保健福祉士1名) (3)仙台市障害者スポーツ協会 事務局(団体)職員:事務局長1名、職員1名 臨時職員:2名 障害者スポーツ指導員:4名
・障がい者スポーツリーダーバンク制度 35名	・名古屋市障害者スポーツセンター登録ボランティア 登録人数延べ1,400人程度	・仙台市障害者スポーツ指導者協議会(指導員の有資格者団体) 148名登録 ・スポーツボランティアネットワーク事業(指導員の資格の有無問わず)88名登録
(2)設備について		
・福岡市立障がい者スポーツセンター ・昭和59年度 ・延床面積4666.30㎡(体育室、温水プール、小体育室、相談室、医務室、卓球室、トレーニング室、講習室、ボランティア室、和室、ラウンジ、アーチェリー場など)	・名古屋市障害者スポーツセンター ・昭和56年度 ・2,869.05㎡(体育館、プール、トレーニング室等)	・仙台市新田東総合運動場 宮城野体育館 ※障害者施設ではないが、障害者に配慮した施設 ・平成19年度 ・13,561.36㎡(メインアリーナ、障害者アリーナ、多目的室、サウンドテーブルテニス室、会議室、プール、トレーニング室)
・指定管理 ・(社福)福岡市社会福祉事業団 ・平成24年度から平成26年度まで	・社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団 ・平成25年度から平成28年度まで	・指定管理 ・公益財団法人仙台市スポーツ振興事業団 ・平成25年度から平成27年度まで

札幌市	広島市	京都市
(1)基本事項		
・委託 ・一般社団法人札幌市障がい者スポーツ協会	1 委託 ・広島市障害者スポーツ大会開催及び全国障害者スポーツ大会への広島市選手団派遣事業 ・障害者の健康づくり事業 2 委託先 ・広島市障害者スポーツ協会 3 指定管理制度 ・広島市心身障害者福祉センター	・委託, 補助 ・京都障害者スポーツ振興会
事務局長⇒団体固有職員 事務職員⇒団体固有職員1名、団体臨時職員1名	事務局長(1名)→心身障害者福祉センター所長 事務局員(1名)→心身障害者福祉センター次長 嘱託員(1名) 臨時職員(1名)	事務局長⇒団体固有職員 事務職員⇒団体固有職員
		特になし
(2)設備について		
・施設名 札幌市身体障害者福祉センター ・設置年度 昭和53年度 ・設備等 体育館	広島市心身障害者福祉センター 昭和58年 体育室(851.69㎡)小体育室(119.48㎡) プール(676.22㎡)等	①京都市障害者スポーツセンター 昭和63年度 6,995㎡(体育館、プール、トレーニング室等) ②京都市障害者教養文化・体育会館 昭和62年度 1,499㎡(体育館、トレーニング室等)
・公益社団法人 札幌市身体障害者福祉協会 平成24年4月1日～平成28年3月31日	社会福祉法人広島市社会福祉事業団 平成22年度から平成25年度まで(平成26年度から平成29年度の指定管理者も上記法人を指定)	公益財団法人京都市障害者スポーツ協会 平成23年度から平成28年度まで

千葉	川崎市	相模原市
(1)基本事項		
運営を行う組織(協会等)を設置していないため委託や補助は行っていない。	・委託 ・川崎市障害者社会参加推進センター(公益財団法人川崎市身体障害者協会)	①・直営(スポーツ大会出場奨励金の交付等) ②・補助(ゆうあいピック開催) ・(公財)神奈川県身体障害者連合会神奈川県障害者スポーツ振興協議会 ③・委託(県障害者スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会市選手団派遣・全国障害者スポーツ大会関東ブロック地区予選会開催) ・(公財)神奈川県身体障害者連合会 ④・指定管理(市立けやき体育館管理運営業務の一部) ・(福)相模原市社会福祉事業団
課内3班(身体・知的・精神)にて実施。 担当:3名、主査:3名、管理職:2名		・組織体制:主担当1名・副担当1名 ・専門職雇用状況:無し
	(川崎市障害者社会参加推進センター) 所長☎1名 センター事務局長☎1名 事務☎団体職員3名、団体嘱託職員2名(内スポーツ担当2名)	② ・人員、組織体制:会長・副会長1名・職員1名(団体非常勤職員1名) ・専門職雇用状況:障害者スポーツ指導員1名 ③ ・人員、組織体制:会長・副会長3名・職員3名(団体固有職員3名) ・専門職雇用状況:障害者スポーツ指導員2名 ④ ・人員、組織体制:館長(団体嘱託職員)・職員11名(団体固有職員2名・団体嘱託職員2名・団体非常勤職員7名) ・専門職雇用状況:無し
該当なし	制度はないが、川崎市障害者スポーツ指導者協議会から障害者スポーツ指導員資格所持者の協力をいただいているほか、ボランティアサークル等から協力あり。人数は大会規模による。	・制度化していないが、障害者スポーツ指導員及び県内専門学校等に通知し、ボランティアを募っている。
(2)設備について		
無	障害者スポーツ拠点施設はありません。	・けやき体育館 ・昭和60年度 ・1,723.37㎡(体育室、機能訓練室、教養室、和室、教室他)
		・指定管理 ・(福)相模原市社会福祉事業団 ・平成21年度から平成25年度まで(平成26年度から平成30年度の指定管理者も上記法人を予定)

設問	神戸市	静岡市
(3)地域での障害者スポーツ振興について		
①拠点施設以外に全市対象ではなく地域ごとの障害者スポーツイベント等の実施について	法人自主事業として、地域支援事業「とんで！はずんで！楽しいスポーツ」を実施。市内14～15か所でサーキットトレーニング教室を開催。指導員が器具持参で巡回指導する。	市を2つの地域に分けて、それぞれ障がいのある方を対象としたスポーツ大会を開催している。
②スポーツ協会等でなく地域団体等が主体的に開催する障害者スポーツイベント実施状況(概ね小学校エリア程度を想定) ■実施していない場合は設問(6)へ	地域団体の取り組みは全容を把握していない。 ふれあいのまちづくりや総合型地域スポーツクラブでの取り組みが考えられる。 25年度研究事業においてモデルとして、ふれあいのまちづくり協議と防災や民協、青少協、自立支援協等で障害者スポーツのイベントを開催した。	障害福祉団体等が、社会参加促進事業としてスポーツ活動を行っているが、全容を把握していない。
②①に対する支援の方法は？(補助・助成・継続・単発等)	支援制度なし。 (モデル事業は別途研究費から負担)	支援制度はないが、市内4つの障害福祉団体に対して事業費補助金を拠出しており、補助対象事業に社会参加促進事業を含んでいる。
③②で補助・助成以外の支援の方法は？(用具貸出・インストラクター派遣等)	器具の貸出制度あり 競技団体等は出前教室制度あり	大会等への後援 施設利用料の減免等に係る副申
④地域生活支援事業活用の有無は？	なし	有
⑤今後の展望は？	検討中	現在の取り組みを継続
(4)設問(5)について実施していない場合		
①今後の展望は？		
②実施していない理由(ニーズがない等)		
(5)障害者スポーツ振興関連について		
①市大会以外の各競技団体が実施する全国大会等の主催、共催等の状況	・日本身体障害者野球大会(選抜大会) ・全日本女子車椅子バスケットボール選手権 ・日本シッティングバレーボール選手権(隔年)	無
②各競技団体が実施する国際大会主催、共催等の状況	・公認試合なし ローンボウルズ等で国際親善試合等あり	無

福岡市	名古屋市	仙台市
(3)地域での障害者スポーツ振興について		
特になし	各区のスポーツセンターなどで地域スポーツ教室を実施。5～6教室で年間50回ほど開催。	スポーツ協会自主事業として、「スポーツなんでも相談」や障害者スポーツに関連するイベントの要請があれば、指導員が訪問し、障害者スポーツの紹介や技術指導を行う出前教室等を開催。
地域全体の取組は全容を把握していない。	定例的な催しの一例としては、名東区社会福祉協議会主催の、「めいとう福祉まつり」において、障害者スポーツ体験を実施している。 その他、小学校の授業の一環としての障害者スポーツ体験等で、随時協力依頼をうけ職員派遣を行っている。	・大学主催：パロリンピック(障害のある方を対象としたスポーツの体験、紹介) ・地域総合型スポーツクラブ主催：KHK青葉スポーツのひろば(ニュースポーツ等の紹介)※健常者だけではなく障害のある方も対象としている
支援制度なし。	指定管理業務	補助金
なし	・会場提供(障害者スポーツセンター体育館) ・用具貸出し ・職員派遣	器具の貸出・指導員派遣 競技団体等は出前教室制度あり
なし	①活用有り ②なし	なし
検討中	①－ ②未定	継続予定
(4)設問(5)について実施していない場合		
福岡市スポーツ振興計画に基づき、スポーツを通じた地域のきずなづくり、コミュニティの活性化を促進	－	
	－	
(5)障害者スポーツ振興関連について		
特になし	・全国障害者スポーツ大会団体競技ブロック地区予選会の開催(直近では、H25年6月に精神障害者バレーボール北信越東海ブロック予選会を実施。)	なし
特になし	特になし	・国際車いすテニス大会

札幌市	広島市	京都市
(3)地域での障害者スポーツ振興について		
札幌市として実施しているものは無い	把握していない	○障害者施設でのチェアエクササイズ の指導 ○精神障害者施設でのバレーボール、卓球の指導 ○聴覚障害者を対象とした講座でのウォーキングの指導 等
把握していない	把握していない	地域団体の取り組みは全容を把握していない。
	—	公益財団法人京都市障害者スポーツ協会の自主事業として実施
	—	用具貸出(車いす、京都障害者スポーツ振興会が実施)
	—	なし
	検討中	検討中
(4)設問(5)について実施していない場合		
予定していない	検討中	
未検討	ニーズを把握していないため	
(5)障害者スポーツ振興関連について		
なし	なし	・全国車いす駅伝競走大会
・はまなす全国車いすハーフマラソン大会	・ピースカップ国際車いすテニス大会の後援	なし

千葉	川崎市	相模原市
(3)地域での障害者スポーツ振興について		
地域ごとの障害者スポーツイベント等の実施・取り組みは把握していない。	該当事業については全市を対象としている為、地域ごとの実施はしていない。	けやき体育館指定管理業務の中で、スポーツ・レクリエーション事業及び余暇活動支援事業を実施
地域団体の取り組みは把握していない。	地域の当事者団体や、各スポーツクラブにて大会や教室等を実施している。また地域活動支援センター同士で連携し、スポーツを通しての交流会を実施している。	その他の地域団体の取組みは全容を把握していないが、相模原市視覚障害者連合会により、サウンドテーブルテニス競技会「けやき大会」が開催されている。
		指定管理料に含む
	委託先(推進センター)にて用具貸出等を行っている。	実行委員会へオブザーバーとして市職員を派遣 競技会場の提供 送迎バスの手配 表彰用メダルの提供
	知的障害者社会参加促進事業費「手をつなぐ体育祭」	無し
	検討中	検討中
(4)設問(5)について実施していない場合		
(5)障害者スポーツ振興関連について		
該当なし	・実施なし	無し
各競技団体が実施する国際大会等の主催は行った例はないが、団体から依頼があり後援などの承認は行っている。	・公認試合なし	無し

平成 25 年度厚生労働省総合福祉推進事業
「地域型障害者スポーツのあり方検討」事業報告書
平成 26 年 3 月発行

社会福祉法人神戸市社会福祉協議会
障害者スポーツ振興センター
〒651-0086 神戸市中央区磯上通 3 丁目 1-32
こうべ市民福祉交流センター4F
電話 (078) 271-5330
FAX (078) 271-5367
URL:<http://www.kobesad.jp/index.html>